

経済構造の転換と新たな自由貿易体制への参加、新規マネーシステムへの対応

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

これらは先端産業の独占におけるグローバル経済のヒエラルキーへの対応を、自国経済の先端産業と基準における転換において、新たな現実の構築を模索できるのである。

これらは現実がすでに新しい世代基準へ転換しているため、後手における対応を得るが、既存産業基盤が新規基準における自己を得ることは、経済政策の作成において、その対応を可能とできると考える。

また自由貿易体制は、経済の安全保障のもと、先端産業の独占を明確に求めているのであり、自国における経済安全保障政策は独自戦略と外交戦略を要求するものである。

また世界は新規マネーシステムへの移行を約束しているのであり、これらは明確の国策における決定を要求されるものである。

これらは明確に自国の経済政策が要求されることであり、従属における現実の構築でなく、自国プレゼンスの回復は、唯一未来を可能とする選択であることを理解しなくてはならない。

また現状の国家財政状況は、必ず健全化を求められるため、産業の再建と国家財政の健全化を同時に求められるものである。

これらは明確に新しい経済政策と財政政策を要求されるものであり、他方においては極東アジアにおける安全保障政策も要求されるものである。

これら逆転の発想は、それら不利要因を逆手に取り、現実を求めることができるのである。それは敵を味方にするのである。

これは極東アジアにおける協力関係や、アラブ地域における資本参加における協力など、可能な施策は存在するのである。

これらはグローバル化という現実が外交政策において、その可能性を提示できることを証明するものである。